

「イソベっちの、前へ前へポップー！」

2012年10月7日(日曜)

ゲスト:大谷和成さん(株式会社文成堂 専務取締役)

第 69 回の「のびのびさん」は、株式会社文成堂、専務取締役、大谷和成さんです。

Q. 「株文成堂」さんは、どのような事業をされている会社ですか？

昭和 37 年創業の会社です。印刷物の見直し・改善の提案をしている会社です。平成 15 年より、地元地域情報の発信が社会貢献であると位置づけ、我々が出来る取材・企画・撮影・ライティング・印刷を活かし、平野区限定情報誌「ひらのの巻」を発行しています。

Q. テーマにしていることは何ですか？

“内向きの情報発信”です。地元への愛着というのは、どれだけ地元の情報を知っているかです。例えば平野の人は、東京や大阪・ミナミの情報は知っていますが、自宅の裏のお店のことは案外知らないんです。そんな意識で活動していたところ、「産業交流フェア」というイベントに出会いました。

Q. その「産業交流フェア」の実行委員長をされているそうですが…

実行委員会は、平野区と東住吉区にある会社をもっと地域の人に知ってもらおうというテーマを掲げて活動しています。地元の産業界、工業界に区の行政が関わってくださっていますが、大阪商工会議所という事務局が間に入ってくさっていることでバランスが取れています。

実行委員会は 40～50 代の若手が中心です。そんな実行委員会を、行政、大商さんがバックアップしてくれている形で進んでいます。

Q. 目指しているのは何ですか？

地域という枠で括ると、色々な方向性をもった多面的な交流が生まれます。例えば、商談相手は自分の兄の友達だったとか。これは一般的な展示会ではありえませんか。ほかに、近所の会社の工場の音で苦情が出ることがあっても、その会社で働く〇〇さんが顔見知りだと分かると苦情が減ったりすることがあります。そんな人と人がつながる地域交流を目指しています。

Q. 大切にしている言葉「のびのびワード」を教えてください。

「交流」

会って話して交流しましょう。そこから何かが生まれてきます。

ありがとうございました。